

2022年5月上旬配本予定

# 本が語ること、語らせること

青木海青子 = 著 有山達也 = 装幀

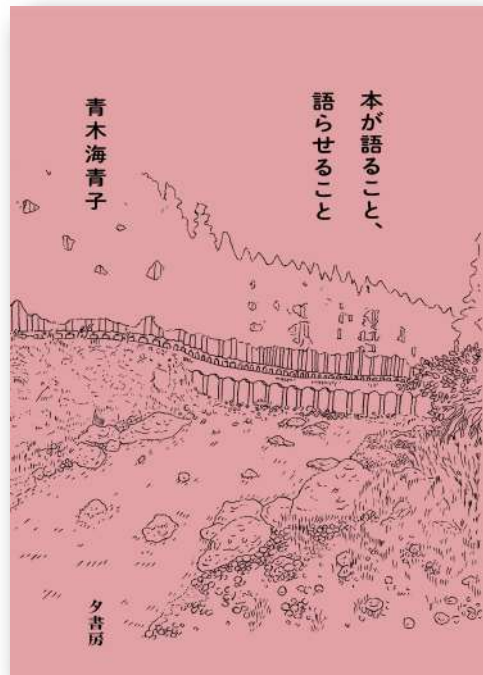
本を真ん中にすると、自然と心が開放されていく。  
本に助けられてきた司書が語る、  
本と図書館と人生のはなし

奈良県東吉野村に借りた古民家の自宅を「人文系私設図書館ルチャ・リプロ」として開いて6年。夫・青木真兵とともに、山村にひっそりたたずむこの図書館を運営してきた司書による、初めてのエッセイ集です。

人と接するのが苦手で、本という「窓」を持つことで心に明かりを灯してきた著者が、自らの本棚を開放することで気づいたのは、「図書館」の本質的な効用でした。

本棚を前に、鎧を脱ぐようにぼつりぼつりと悩みを打ち明け始める人、お互いの新たな面を発見する友人同士、世界とつながる感覚を得る人……。金銭の介在しない「彼岸の図書館」で静かに生まれる知と心の不思議な循環は、読むこと、本がそこにあることの新たな可能性を示唆しています。ルチャ・リプロで日々行われている独自のレファレンスサービスの延長として、身近な人から寄せられた悩みに3冊の本で答えた8つの記録〔司書席での対話〕も収録。

本好きな人にはもちろん、日々の生活に頑張りがすぎている人にもそっと手渡したい、気持ちがほぐれる優しい一冊です。



本体 1,700 円 + 税  
184 頁 / 四六変型 / 並製・カバー無  
ISBN : 978-4-909179-08-1 C0095

**お悩みに3冊の本で答えます。**

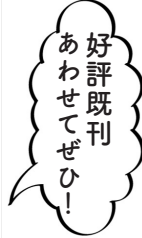
「婚活」を始めたけれど／働かない夫となぜ暮らしているのか／「趣味」と言われて／評価って何？／最近、SNSが苦痛です／自分の考えを持ちたい etc.

私はルチャ・リプロを開けることを通じて、  
「閉じた世界に窓をつくろうとしている」のかもしれませんが。  
つくろうとしているのは、自分自身のためだけでなく、  
みんなで一緒に外を眺められる広くて大きな窓です。

本書より



彼岸の図書館  
ぼくたちの「移住」のかたち  
青木真兵・海青子著  
2000円＋税



青木海青子 あおき・みあこ / 1985年生まれ。大学図書館勤務を経て、夫・青木真兵とともに奈良県東吉野村に「人文系私設図書館ルチャ・リプロ」を開設。2016年より図書館を営むかわら、刺繍アクセサリや雑貨製作、イラスト制作も行っている。真兵との共著に『彼岸の図書館—ぼくたちの「移住」のかたち』（夕書房）、『山學ノオト』『山學ノオト2』（エイチアンドエスカンパニー）がある。

内容のお問い合わせ、イベントのご相談は、夕書房（せきしょぼう）・高松まで TEL: 090-6563-2762 info@sekishobo.com

▶ご注文はツバメ出版流通まで

**FAX: 03-3721-1922**

mail: info@tsubamebook.com  
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）	夕書房 新刊 <a href="http://www.sekishobo.com">http://www.sekishobo.com</a> 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人	
	注文数	<b>本が語ること、語らせること</b> 本体 1,700 円 + 税 / 184 頁 / 四六変型・並製 ISBN : 978-4-909179-08-1 C0095
	冊	
ご担当： 様	冊	<b>彼岸の図書館—ぼくたちの「移住」のかたち</b> 本体 2,000 円 + 税 / 288 頁 / 四六判・仮フランス装 / ISBN : 978-4-909179-04-3 C0036